

採点規則（日本語）

◎次の文例により、規則を示す。

【文例】

日本は昔から実に環境に優しい暮らしをしていました。土や草、手作りの布や紙に囲まれていたのです。そして、それらは当然のように繰り返し使われてきました。現代は、リサイクルを声高にして叫ばれている時代ですが、日本ではもともとごく自然に行われていました。中でも和紙は、暮らしのさまざまな場面で使われており、今もその素材の素晴らしさは高く評価されています。現在、使用した紙の再生率は、世界的にも高い水準に達しています。今後はこの数字をできる限り伸ばす努力が必要だと思えます。

ニッケン印刷株式会社は、再生紙技術と研究を40年行っているJ. Palmer 教授に経営指導を受けながら、上記の創業者の言葉を実現すべく、努力を重ねて参ります。

	規 則	正しい例	誤った例	ミス
1	誤字 問題と異なった文字が打たれた場合は、問題文の1文字について1ミスとする。	使用した紙の	私用した紙の	1
		暮らしのさまざまな	暮らしの様々な	4
		高く評価されて	たかく評価されて	1
2	文字の大きさ（フォントサイズ） 書体の種類（フォント） 全角文字、半角文字 文字の大きさ、書式の種類が混合しないこと。 数字・英字・カタカナ・記号は半角入力しないこと。 ※混合がある場合は全体で1ミス	環境に優しい 環境に優しい 40 J. Palmer ニッケン	環境に優しい ※大きさの間違い 環境に優しい ※ゴシック 40 J. Palmer ニッケン ※半角	1
3	各行の間隔 不規則で打ったものは誤り。 ※その箇所ごとに1ミス	日本は昔から実に～ れていたのです。～ サイクルを声高に～	日本は昔から実に～ ↓ ↑ れていたのです。～ サイクルを声高に～	1
4	強制改行 問題文どおりとする。 ※その箇所ごとに1ミス	～ました。現代は、リ サイクルを～ ～だと思えます。 ニッケン印刷株式～	～ました。 現代は、リサイクルを～ ～だと思えます。ニッケン 印刷株式～ ※改行位置が間違っている ※行頭のスペースが脱字である	1 2
5	打ち始めの位置 問題文どおりとする。 段落の1文字目を必ずあけること。 ※その箇所ごとに1ミス	日本は昔から～ れていたのです。	日本は昔から～ ていたのです。	1
6	飛び字・余分字 余分なスペースを打った場合は、スペース数に関わらず1ミスとする。 問題文以外の文字を打った場合は、その文字数分をミスとする。 同じ文字を再度打った場合は、その文字数分をミスとする。	～そして、それらは	～そして、_それらは ～そして、__それらは	1 1
		できる限り伸ばす	できる限りに伸ばす	1
		紙の再生率	紙の再生の再生率	3
7	脱字	今後はこの数字を	今後は数字を	2
8	転倒 転倒した文字は、文字数分をミスとする。	必要だと	必要とだ	2
		株式会社	会社株式	4
9	全文の2度打ち 問題文を打ち終えても2度打ちはしない。2度打ちした分は、総字数に加えない。			
10	改ページ 改ページする行が問題文と違う場合は、全体で1ミスとする。			
11	禁則処理 正しい禁則処理によって1行が40文字になっていない場合は、ミスとしない。			
12	書式の誤り 書式設定で1行40文字・36行に設定されていない場合は、それぞれ1ミスとする。			
13	長音記号と読点 長音記号「ー」とハイフン「-」の混合は許容範囲として減点はしない。 読点「、」とカンマ「，」はどちらか一方に統一してあれば許容範囲とする。混合している場合は全体で1ミスとする。			

採点規則（英文）

◎次の文例により、規則を示す。

【文例】

Flying in the air was man's long dream. Many inventors looked on birds as a model. They planned flying machines with wings. But the first traveler in the air was not in an airplane but in a balloon. Balloons were making journeys in the air a hundred years before the first airplane left the ground.

	規 則	正しい例	誤った例	ミス
1	誤って打たれた語 1語中に誤りがいくつあっても、1ミスとする。	They planned flying	They <u>planed</u> flying They <u>pranned</u> flying They <u>pllaaned</u> flying	1 1 1
2	文字の大きさとフォント 文字の大きさとフォントは混合しないこと。 ※答案全体で1ミス	Flying in the air was	Flying in the <u>air</u> <u>was</u> Flying in the air <u>was</u>	1
3	各行の間隔 不規則で打ったものは誤り。 ※その箇所ごとに1ミス	Flying in the air was man's long dream. Many inventors looked on birds	Flying in the air was ↓ ↑ man's long dream. Many inventors looked on birds	1
4	改行・改ページ すべて問題文のとおり箇所で改行・改ページを行うこと。 ※その箇所ごとに1ミス	Flying in the air <u>was</u> man's long dream. Many	Flying in the air <u>was</u> man's long dream. Many	1
5	打ち始め パラグラフのはじめの行を除いて、不揃いの行があれば誤り。 ※その箇所ごとに1ミス	Flying in the air was man's long dream. Many <u>inventors</u> looked on birds	Flying in the air was man's long dream. Many <u>inventors</u> looked on birds	1
6	両端揃え（ジャスティフィケーション）	パラグラフの始め以外は左揃えとし、両端揃えにはしない。 ※答案全体で1ミス		
7	パラグラフ（段落）の始め 1タブ分（5スペース程度）空白をとり、各パラグラフの始めは揃える。 ※その箇所ごとに1ミス	Flying in the air was man's long dream.	<u>Flying</u> in the air was man's long dream.	1
8	スペースと句読点 スペースと句読点は、前の語の一部分とみなされる。（項目15参照）	Flying in the air was man's long dream. Many inventors looked on birds	<u>Flyingin</u> the air was <u>man's long dream:</u> Many <u>invent ors</u> looked <u>onbirds</u>	1 2 2
9	順序を前後して打たれた場合 語の文字や、文中の語・行がおきかえて打たれた場合には誤り（ミス）となるが、おきかえて打たれた語の中に誤りがあれば、さらに誤りとして加えられる。	Flying in the air was man's long dream. Many inventors looked on birds as a model.	Flying in the air was man's <u>dream long</u> . Many inventors <u>on loooked</u> birds as a model.	1 2
10	打ちおとし 1語につき2ミスとする。	Flying in <u>the</u> air was man's long dream. Many inventors looked <u>on</u> birds <u>as</u> a model.	Flying in air was man's long dream. Many inventors looked birds model.	2 2 4
11	繰り返し語・余分語 余分語を挿入した場合、挿入1箇所でも1ミスであるが、その中に誤りがあれば加算される。	But the first traveler in the air was not in an airplane but in a balloon.	But the first traveler in the <u>the</u> air was not in an airplane but in a <u>bigg</u> balloon.	1 2
12	問題文の誤り	問題文に誤りがあつたときは、訂正して打つても、また原文のとおり打つてもよい。しかし打たなければ誤りとする。		
13	最後の語 時間がきて、1語の途中で終わったときは、その打ったところまでのストローク数が計算される。ただし、その中に誤りがあれば、1ミスとなる。	before the first airplane left the ground	before the first airplane left the <u>goou</u>	1
14	全文の2度打ち	問題文を打ち終えても2度打ちはしない。2度打ちした分は、ストローク数に加えない。		
15	句読点の後のスペースのあけ方 A) Period (.) の後は2スペースあける。 B) Colon (:) の後は2スペースあける。 C) Exclamation Mark (!) の後は2スペースあける。 D) Question Mark (?) の後は2スペースあける。 E) Semicolon (;) の後は1スペースあける。 F) Comma (,) の後は1スペースあける。 G) Hyphen (-) 前後のスペースはあけない。 H) Abbreviation Mark (Ave.)の後は1スペースあける。(ただし Abbreviation Mark が Period を兼ねる場合は2スペースあける) 誤った場合はその箇所ごとに1ミスとする。			